

二セ電話詐欺の認知状況（令和4年7月末）

～高額当選を騙る詐欺に要注意！～

1 県内の二セ電話詐欺の認知状況（令和4年7月末）

- 被害認知件数は**62件**（前年同期比+18件）
- 被害総額は**約1億4,945万円**（前年同期比-約2,946万円）

2 令和4年7月の認知状況

- 被害認知件数は**9件**（前年同月比+1件）
- 被害額は**約825万円**（前年同月比-約1億2,018万円）
- 手口は
 - ・ 架空料金請求詐欺 7件
 - ・ 還付金詐欺 1件
 - ・ キャッシュカード詐欺盗 1件

3 県内の二セ電話詐欺の傾向（令和4年7月中）

7月中の二セ電話詐欺認知件数は9件と、前年同月と比較して1件増加しました。また、前年同期比で18件増加と大変厳しい情勢です。

主な手口は、「3億円が当選した」「政府から救済金がもらえる」等のウソのメッセージを送りつけ、振込手数料等の名目で金銭をだまし取るものが4件発生しています。

本手口の特徴は、一度被害者がお金を貰えると信じてしまうと、自力で詐欺と気がつくことが極めて困難で、他人から詐欺と指摘されても受け入れない傾向があります。

この手の被害を防ぐには、犯人とつながらない環境を作ることが有効です。具体的には、携帯ショップに相談してメールのフィルタリングサービスを利用することが挙げられます。

高齢の御家族がいらっしゃる場合は、積極的にこのようなサービスを利用するよう促してください！だまされんばい！長崎！

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和4年7月末(人)		
	男性	女性	計
0 ～ 19	-	-	-
20 ～ 29	3	2	5
30 ～ 39	-	1	1
40 ～ 49	2	3	5
50 ～ 59	7	2	9
60 ～ 64	2	5	7
65 ～ 69	8	10	18
70 ～ 79	5	5	10
80 ～ 89	3	4	7
90 ～	-	-	-
合計	30	32	62
うち65歳以上の高齢者	16	19	35

～二セ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和4年7月末 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	25
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	4
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	-
電子マネー型(コンビニで電子マネーを購入させる)	31
キャッシュカード手交型	-
収納代行利用型(コンビニ決済)	-
キャッシュカード窃取型	2
合計	62